

対象 子ども (小学生(高学年) / 中学生) おとな (学生 / 社会人)

実施人数 2～30人

所要時間 30分

実施すると効果的な場合

- ・サービス・ラーニング活動を始める前
- ・いっしょに活動するメンバーや協働する相手との関係がうまくいっていないとき

② 毛糸を編む

～このアクティビティのねらい～

- ・いっしょに活動する仲間との協力関係について考える
- ・サービス・ラーニングにかかわる3者について知る

*ファシリテーター 1人

*スペース 1室(全員が入れる大きさ)

*テーブル・机と椅子の配置 ペア形式(横並び)

*必要なもの

- ・極太の毛糸(青・赤・黄色)×各1玉
- ・ホワイトボード、ホワイトボード用マーカー(黒・赤・青・緑×各1本)

*事前準備

- ・毛糸セット(色の違う3本の毛糸をそれぞれ長さ30cmに切ったもの)を人数分作っておく。
- ・図1「毛糸の編み方」(p.63に掲載)をペアの数分コピーしておく。

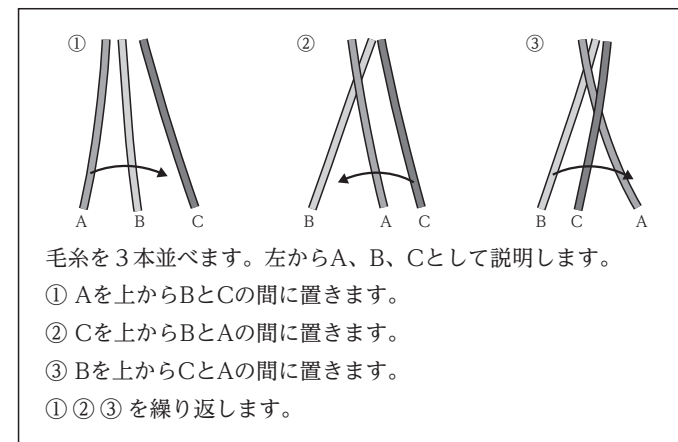
*やり方

- ① ペアをつくってもらい、各自に毛糸セットを1つずつ、ペアに1つ図1のコピーを配ります。



- ・なるべく、初対面か、あまり話をしたことがない人どうして組んでもらいます。
- ・受講者数が奇数の場合は、ファシリテーターが入ってペアになり、①から③までをいっしょに行ないます。

図1 毛糸の編み方



- ② 「配られた図1を参考にして、ペアの相手といっしょに3本の毛糸を編んでください。」と指示を出します。(5分)



- ・ペアの相手に端を持ってもらって編み始める人、相手の助けを借りずに一人で編み始める人などさまざまだと思いますが、ファシリテーターは黙って見守りましょう。

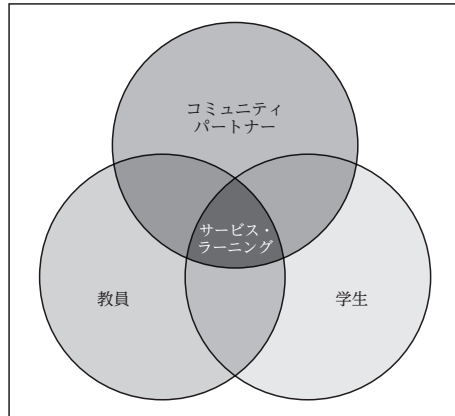


- ③ 時間になったら、編むのをやめて、編んだ毛糸をペアで見せ合って、仕上がりかどのように違うか、それはなぜかなどについて話し合ってもらいます。(5分)



- ④ 時間になったら、図2を参考にして、サービス・ラーニングにかかわる3者の図をホワイトボードに大きく描き、実はこのアクティビティで使った3本の毛糸がこの3者を表わしていたことを説明して締めくくります。(5分)

図2 サービス・ラーニングにかかわる3者



【注】 このアクティビティは、Jennifer A. Alkezweeny氏によって考案されたものです。

*振り返り

(1) 以下について考えてみましょう。

- ① あなたはどのようにして編み始めましたか。一人で編み始めましたか。それとも、ペアの相手に手伝ってもらいましたか。そして、編み始めをどのようにしたかについても、具体的に説明してください。

- ② ②でファシリテーターが「ペアの相手といっしょに編んでください」と言ったのは、なぜだと思いますか。

- ③ 最初から最後まで一人で編んだときと、ペアの相手といっしょに編んだときの仕上がりはどのように違うでしょう。理由も含めて考えてみましょう。



引っ張り合って協力する

毛糸の三つ編みは、それぞれが1本ずつ別々の状態の3本よりも強くなります。サービス・ラーニングの構成要素を考えたとき、それは三つ編みと似ていると気づきました。それは学術的な教材、コミュニティでの経験、そして、振り返りです。それぞれが重要な要素ですが、いっしょにすることで、それぞれの要素が組み合わされた強力な三つ編みができあがります。

わたしはコミュニティパートナーといっしょにサービス・ラーニングの授業を計画するときには、この3つの要素について話し合っています。コミュニティパートナーにとって重要なのは、その授業でどのような教材を使うのか、学生がどのように振り返りを行なうのかを理解することです。そうすれば、コミュニティパートナーは共同教育者になることができるのです。

「毛糸を編む」は、学生といっしょに楽しみながらできるアクティビティです。お互いに助け合いながら三つ編みを作ります。三つ編みを作るのは子供のとき以来でしょうから、いつもたくさんの笑い声があがります。これは学生が「右脳」、つまり通常の授業の課題をするときには使わない部分の脳を使う創造性に富んだアクティビティです。毛糸をいっしょに編んでいる間、学生はクラスメイトと指を使った体験をし、いっしょに三つ編みを作りながら、サービス・ラーニング活動の経験について語り合います。

うまく三つ編みを作るには、サービス・ラーニングと同様にコミュニケーションと協力が必要です。編んでいる人と毛糸を持っている人の間には、学生とコミュニティパートナーのような互惠関係があります。多くの場合、完成した三つ編みのように、サービス・ラーニングにも成果物があります。学生といっしょにこのアクティビティをすることで、サービス・ラーニングの経験のそれぞれの部分がどれほど重要で、どのように相互に関連しているかを知ることができるのです。